

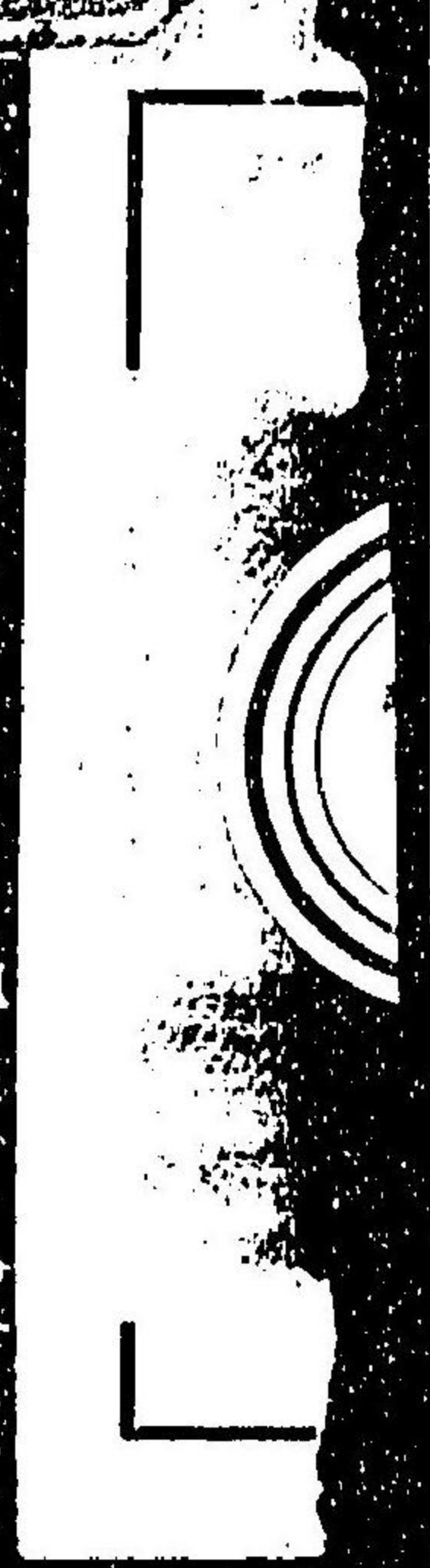
正編

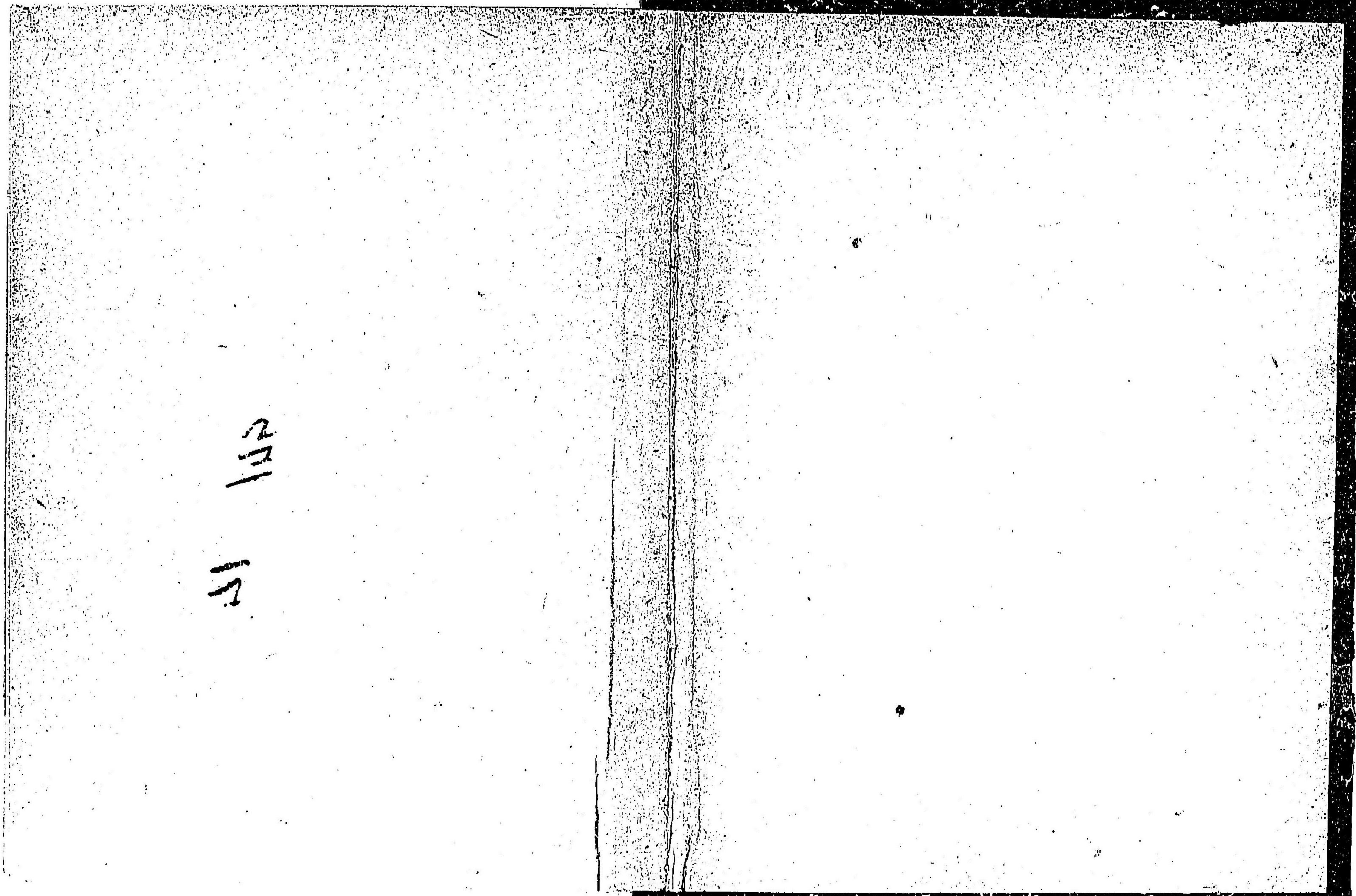
現行法典

第一編

71
175

CZ
5
030





2
3
4

41
175

丹羽正郎 纂輯

寫真
正
現
六法典

編纂第



東亞
小林家藏版

CZ
5
030

例言

本編ハ明治二十六年四月十五日以來明治二十七年三月マテ發布ノ諸法規ヲ纂輯
ス
纂輯ノ体裁ハ一ニ前編ノ例ニ從フ但新令發布ノ爲メ一二ノ章款ヲ増加セリ

明治二十七年五月一日

編者識

現行法典 第二編目錄

第五類 帝國憲法	第一章 憲法	一
第四類 刑法	第二章 刑法	一
第三類 刑事訴訟法	第三章 刑事訴訟法	一
第四類 民事訴訟法	第四章 民事訴訟法	一
第五類 商法	第五章 商法	一
第六類 罰則	第六章 罰則	一
第一編 通則	第七章 通則	一
第二編 營業	第八章 營業	一
第一章 銀行	第九章 銀行	一
第二章 債券	第十章 債券	一
農商務省令明治二十六年七月十七日 株式會社債券二		

第三章 茶業	一
第四章 質屋	一
第五章 取引所	一
農商務省令明治二十六年七月十三日 取引所法施行規則	三
勅令明治二十六年七月二日 取引所ノ資本金、營業保證金等ノ件	六
第六章 古物商	一
第七章 師範工	一
第八章 渡入紙	一
第九章 牛馬賣買	一
第十章 藍種検査	一
第十一章 商業會議所	一
第三編 衛生	一
第一章 種痘	一
第二章 藥品	一

目錄

(三)

第二章 獸醫	大藏省訓令明治二十六年七月八日木箱容器三貼	一五
第三章 傳染病		
第四章 檢疫停船		
第五章 墓地埋葬		
第六編 保安		
第一章 銃砲		
第二章 火藥		
第三章 新聞		
第四章 爆發物		
第五章 決闘罪		
第六章 豫戒令		
第七章 保安條例		
第八章 不開港場		
第五編 稅法		
第一章 酒類	法律明治二十六年四月酒類營業稅法	一八
	大藏省令明治二十六年六月六日全上施行細則	一〇
	勅令明治二十六年五月五期醫藥用及工業用酒精	一一
	營業稅免除ノ件	一二
	大藏省訓令明治二十六年七月木箱容器ノ件	一五
	大藏省訓令明治二十七年三月三十一日所得稅法施行細則	六八
	則中改正	
第二章 所得稅		
第三章 酒稅		
第四章 鹽稅		
第五章 地所		
第六章 稅關		
第七章 狩獵		
第八章 水產		
第九章 鹽池		
第十章 菓子		
第十一章 登記法		
第十二章 印稅		
第十三章 滯納處分		
第六編 印稅		
第一章 證券		

第二章 訴訟		
第三章 登記		
第四章 營業		
第五章 煙草	大藏省令明治二十六年四月三十一日煙草稅則施行細則	一六
	則中改正追加	
	大藏省令明治二十七年三月三十一日煙草稅則施行細則	一六
	則中改正	
第七編 特許		
第一章 商標		
第二章 意匠		
第三章 特許		
第四章 寫真		
第五章 脚本樂譜		
第八編 交通		
第一章 郵便		
第二章 電信		
第三章 鐵道		
第四章 船舶		
第五章 航海		
第六章 運漕		
第七章 測量標		
第八章 航路標識		
第九章 海技免狀(增)	通信省令明治二十六年九月九日海技免狀取扱規程	一六
	則中改正	
第九編 軍事		
第一章 徵發		
第二章 徵兵		
第三章 軍港		
第四章 歸休兵		
第五章 豫備後備軍		
第十編 社會		
第一章 衆議院		
第二章 府縣會		
第三章 市町村會		
第四章 議會及購買保險		
第十一章 雜則		
第一章 勸業	農商務省令明治二十六年五月續業條例施行細則	二〇
	則中改正	

農商務省令 明治二十六年九月 礦業條例施行細則中改正追加	二〇
農商務省令 明治二十六年七月 他人ノ採掘セ ル礦石又ハ砂礫ヲ買入リ製煉スル者取扱方	二一
第二章 石油	
第三章 官鐵	
第四章 通海	
第五章 度量衡	
第六章 公證人	
第七章 出生死亡出入寄留	
第八章 雜	
第七類 拾遺	
第一編 憲法ニ關スル諸典	
第一章 皇室典範	
第二章 法例 公文式	
勅令 明治二十六年十月三十一日 地方官廳ノ發スル 命令ノ公布式	二二
第三章 行政裁判	
第四章 訴訟法	
第五章 議院法	
第六章 貴族院令	
第七章 伯子男爵議員選舉規則	
第八章 多額納稅議員互選規則	
第九章 貴族院議員資格及選舉爭訟判 決規則	
第十章 衆議院議員選舉法	
第十一章 衆議院議員選舉法施行規則	
第十二章 衆議院議員選舉法刑罰補則	
第十三章 議會並議員保護	
第十四章 裁判所構成法	
第十五章 裁判所構成法施行條例	
第十六章 刑事懲戒法	
第十七章 辯護士法	
司法省令 明治二十六年四月 辯護士名簿登錄規 則	二三
第十八章 會計法	
第一編 刑法ニ關スル諸典	
第一章 刑法附則	
第二章 竊盜罪	

第二章 有罪破産	
第四章 雜	
第三編 刑事訴訟法ニ關スル諸典	
第一章 普通治罪法陸海軍治罪法交涉 處分法	
第二章 樺戸空知釧路集治監ノ囚人裁 判法	
第三章 重罪控訴豫納金規則	
第四章 輕罪控訴豫納金規則	
第五章 間接國稅犯則處分法	
第六章 間接國稅犯則處分法施行細則	
大藏省令 明治二十六年六月 間接國稅犯則者處 分法施行細則第十三條別除	二四
第七章 違警罪即決例	
第四編 民法ニ關スル諸典	
第一章 利息制限法	
第二章 土地收用法	
第三章 登記法	
第五編 民事訴訟ニ關スル諸典	
第一章 民事訴訟法施行條例	
第二章 民事訴訟法補則	
第三章 出訴期限	
第四章 非訴事件手續法	
第五章 民事訴訟費用法	
第六章 民事訴訟用印紙法	
第七章 雜	
第六編 商法ニ關スル諸典	
第一章 商法施行條例	
法律 明治二十六年十二月 商法施行條例第八條 中追加	二四
第二章 銀行條例	
大藏省令 明治二十六年五月 銀行條例施行細則	二四
第三章 貯蓄銀行條例	
大藏省令 明治二十六年五月 貯蓄銀行條例施行 細則	五三
大藏省令 明治二十六年十一月 銀行並貯蓄 銀行出張所代理店ニ關スル取扱手續	五五
第四章 家資分帳法	
第五章 商事非訴事件印紙法	
第六章 雜(增)	

司法省令 明治二十六年四月 商法ニ依リ調書ノ原本ヲ求ムルトキ登記印紙ヲ以テ手數料納付

農商務省令 明治二十六年五月 株式会社ニ係ル件

第七章 補遺

第一章 集會政社法

第二章 出股法

第三章 取極法

内務省令 明治二十六年七月 出版及版権ニ關スル願届手續

附録 市町村便覽

明治二十五年中各府縣ニ於テ町村分合改稱

セシ分

五六

五六

五七

六五

Table with 2 columns: Title and Page Number. Includes entries for '司法省令', '農商務省令', '第七章 補遺', '第一章 集會政社法', '第二章 出股法', '第三章 取極法', '内務省令', '附録 市町村便覽', and '明治二十五年中各府縣ニ於テ町村分合改稱'.

寫眞 現行法典 第二編

Table with 2 columns: Title and Page Number. Includes entries for '第六編 罰則', '第一章 營業', '第二章 債券', '第三章 債權發行ノ認許申請書', '第四章 債權發行ノ要スル事由', '第五章 債權發行ノ金額', '第六章 債權發行ノ初期及最終期', '第七章 債權發行ノ利率', '第八章 債權發行ノ歩合及其仕拂時期'.

第六編 罰則 第二編 營業

十一 元利金仕拂ノ豫算
 前項第四號乃至第十號ニ記載ノ事項ヲ變更セントスルトキハ更ニ其認可ヲ請フヘシ
 第三條 債券發行ノ認許申請書ニハ債券ニ記載スヘキ左ノ契約要件ヲ具シタル書面ヲ添付スヘシ
 一 債券償還ノ年月及其手帳
 二 利子拂渡ノ手帳
 三 債券償還應受ニ關シ會社及當事者ノ履行スヘキ手續並債券原簿記入停止ノ期日
 四 債券ノ損傷又ハ紛失ノ節新券下付ノ手續及之ニ關スル費用ノ負擔者
 前項各號ニ記載ノ事項ヲ變更シケルトキハ更ニ其旨ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ
 第三條 債券者募集期日、募集價格及債券拂込期日ヲ定メタルトキハ更ニ之ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ
 第四條 債券者ノ募集ヲ了リタルトキハ募集締切ノ日ヨリ三十日以内ニ左ノ事項ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ
 一 但二回以上ニ分チ募集スルトキハ毎回届出ツルコトヲ要ス
 二 募集金額
 三 應募金額
 四 申込價格ノ最昂、最低及平均
 五 募集契約締結ノ最低價格及會社ノ實收スヘキ金額
 第五條 會社ハ毎年債券ニ關スル左ノ事項ヲ取調翌年二月末日迄ニ農商務大臣ニ届出ツヘシ
 一 其年債券拂込高既往累年拂込總高及未拂込高
 二 其年債券償還高既往累年償還總高及未償還高
 三 利子仕拂高
 四 債券償還應受ノ人員及價金高
 五 其年末現在債權者ノ員數

第六條 債券ニ關シ農商務大臣ニ差出スヘキ書類ハ總テ地方長官ヲ經由スヘシ
 第七條 本年六月三十日以前ニ債券ヲ發行シタル株式會社ハ第一條及第二條各號ノ事項ヲ詳具シ本年八月三十一日マデニ農商務大臣ニ届出ツヘシ

第五章 取引所

農商務省令 明治二十六年七月 取引所法施行規則左ノ通相定ム

取引所法施行規則

第一條 會社組織ノ取引所ヲ設立セントスルトキハ發起人ハ左ノ事項ヲ記載シタル發起認可申請書ニ假定款及發起人ノ履歷書ヲ添ヘ農商務大臣ニ差出シ認可ヲ受クヘシ
 一 取引所ノ組織名稱及位置
 二 資本金及發起人各自ノ引受クル股金額
 三 資本金使用ノ概算
 四 賣買取引スヘキ物件
 五 取引所ノ地區ト爲サントスル市町村名
 六 設立ヲ要スル事由
 七 賣買取引クヘキ物件ノ其市街内ニ於ル集積ノ沿革及現況
 八 其市街内會員又ハ仲買人タルヲ得ヘキ商人ノ概數但各賣買品毎ニ區別スヘシ
 第二條 株式會社組織ノ取引所ヲ設立セントスルトキハ發起人ハ商法第百五十九條ニ據リ提出スヘキ發起認可申請書ニ第一條第四號乃至第八號ノ事項ヲ記載シタル書面及發起人ノ履歷書ヲ添ヘ農商務大臣ニ差出シ認可ヲ受クヘシ
 第三條 農商務大臣取引所ノ地區ヲ定メタルトキハ隨時之ヲ告示スヘシ
 第四條 取引所設立發起人ノ人員ハ賣買取引セントスル物件ノ各種類毎ニ二十五人以上タルヘシ

- 發起人の購買取引セントスル物件ノ各種類ニ對シ人員ノ二分一以上ハ其種類ノ營業者ニシテ會員組織ノ取引所ニ於テハ會員又ハ仲買人、株式會社組織ノ取引所ニ於テハ仲買人タルノ資格ヲ有スル者タルヘシ
- 第百條 取引所ノ定款ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ但其他必要ノ事項ハ之ヲ掲載スヘシ
 - 一 取引所ノ名稱、位置及地區
 - 二 購買取引セントスル物件
 - 三 資本金、株式ニ關スル事項
 - 四 會員仲買人ノ入退、身元保證金、組合、代理人ニ關スル事項
 - 五 役員ノ選舉及其職務ニ關スル事項
 - 六 會議ニ關スル事項
 - 七 取引所手續料及仲買人口錢ニ關スル事項
 - 八 仲買人ノ業務ニ關スル事項
 - 九 市場ノ開閉及休業ニ關スル事項
 - 十 賣買及受渡ニ關スル事項
 - 十一 倉庫ニ關スル事項
 - 十二 公定相場ニ關スル事項
 - 十三 取引所ノ帳簿、記録及會員、仲買人ノ帳簿ニ關スル事項
 - 十四 取引所ノ出納決算ニ關スル事項
 - 十五 準備ノ積立金保管及出納ニ關スル事項
 - 十六 仲裁ニ關スル事項
 - 十七 違約處分ニ關スル事項
 - 十八 定款ノ變更及解散ニ關スル事項
- 第六條 會員組織ノ取引所ノ發起人ニ於テ發起ノ認可ヲ得タルトキハ少クトモ十四日間之ヲ公告シ會員ヲ

- 募集スヘシ其公告中ニハ認可ノ年月日、第一條第一號乃至第四號ノ事項、取引所ノ地區及發起人ノ氏名ヲ掲載シ且各會員申込人ニ假定款ヲ展開セシムル旨ヲ附記スヘシ
- 株式會社組織ノ取引所ニ於テ目論見書ヲ公告シ株主ヲ募集スルトキハ其公告中ニハ商法第六十條規定ノ外第一條第四號ノ事項及取引所ノ地區ヲ掲載スヘシ
- 第七條 會員組織ノ取引所ノ發起人ハ會員ヲ募集シタル後創業者總會ヲ開クヘシ其總會ニ於テ總會員申込人ノ半數以上ノ承諾ヲ得テ定款ヲ定メ役員ヲ選舉シ後テ設立免許申請書ニ會員申込簿ヲ添ヘ農商務大臣ニ差出シ免許ヲ受クヘシ
- 株式會社組織ノ取引所ノ發起人ハ商法第六十六條ニ據リ設立免許申請書ヲ農商務大臣ニ差出シ免許ヲ受クヘシ
- 取引所ノ發起人ハ設立免許申請書ト同時ニ定款及役員認可申請書ヲ農商務大臣ニ差出シ認可ヲ受クヘシ但役員ノ履歷書ヲ添付スヘシ
- 第八條 役員ノ認可ヲ得タルトキハ發起人其事務ヲ役員ニ引渡スヘシ
- 第九條 役員ニ於テ開業ノ準備ヲ整頓シタルトキハ開業ノ日ヲ定メ農商務大臣ニ届出ツヘシ但株式會社組織ノ取引所ニ於テハ開業届出前ニ營業保證金納入ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第十條 取引所ハ設立ノ免許ヲ得タル日ヨリ六箇月以内ニ開業セサルトキハ其免許ノ効力ヲ失フモノトス
- 第十一條 取引所ノ仲買人ノ免許ヲ得ントスル者ハ其履歷書ヲ添ヘ農商務大臣ニ差出スヘシ
- 第十二條 農商務大臣仲買人ノ免許ヲ與ヘタルトキハ地方長官ヲ經由シ免許狀ヲ取引所ニ送付シ取引所ハ免許料ノ金額ニ相當スル登記印紙ヲ貼用シタル受書及身元保證金ヲ差出サシメタル上之ヲ本人ニ交付スヘシ
- 免許狀ノ受書ハ速ニ取引所ヨリ農商務大臣ニ差出スヘシ
- 第十三條 仲買人履歷シタルトキハ免許狀ヲ添ヘ農商務大臣ニ届出ツヘシ
- 第十四條 仲買人免許狀ヲ紛失シタルトキハ事由ヲ具シ農商務大臣ニ申出テ更ニ其交付ヲ請フヘシ

仲買人氏名ヲ變更シタルトキハ免許狀ヲ添へ農商務大臣ニ申出テ書換ヲ請フヘシ

第十五條 取引所ハ左ノ報告書ヲ編製シ各期限ニ從ヒ農商務大臣ニ差出スヘシ

一 毎月公定相場表

二 毎月賣買高表

三 毎月商品集散及商況報告

四 以上翌月十五日限り發送

五 收支豫算表

六 以上議定後十五日限り發送

七 每半季財産目録

八 每半季貸借對照表

九 每半季損益計算表

十 以上各期限後二十日限り發送

以上各期限後二十日限り發送

第十六條 取引所ヨリ農商務大臣ニ差出スヘキ文書ハ總テ地方長官ヲ經由スヘシ

地方長官ハ前項書類ヲ接受シタルトキハ意見書ヲ添附シテ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ但取引所設立發

起認可申請書ヲ接受シタルトキハ特ニ發起人ノ身元ヲ詳査スヘシ

第十七條 仲買人ヨリ農商務大臣ニ差出スヘキ文書ハ總テ之ヲ取引取ニ差出シ取引所ハ地方長官ヲ經由シ

テ農商務大臣ニ差出スヘシ

勅令明治二十六年七月二日 股取引所ノ資本金、營業保證金、株式、手数料、積立金及賣買取引ノ方法ニ關ス

ル規定並仲買人免許料金額ノ件ヲ裁下シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 株式會社組織ノ取引所ノ資本金ハ三萬圓以上トス

農商務大臣ハ賣買取引ノ狀況ニ因リ必要ト認ムルトキハ資本金額ヲ増加セシムルコトヲ得

第二條 會員組織ノ取引所ノ創設及維持ノ資本金ハ其會員ノ豫金ヲ以テ之ニ充ツヘシ解散ノ場合ニ於テ存

留タル資本及其他ノ財産ハ一切ノ義務ヲ解除シタル後ニ於テ現時ノ各會員ニ平分スヘシ

第三條 取引所ニシテ倉庫ヲ設置スルトキハ其倉庫ニ關スル資本金ハ第一條及第二條ノ資本金以外ニ之ヲ

増加スヘシ

第四條 株式會社組織ノ取引所ノ營業保證金額ハ其資本金額ノ三分ノ一トス但倉庫ノ爲メ増加シタル資本

金ハ之ヲ算入セス

營業保證金ハ營業開始前大藏省預金局預金ノ證書若クハ國債地方債證券ヲ以テ其全額ヲ地方廳ニ納ムヘ

シ但國債地方債證券ヲ以テ納入スル場合ニ於テハ其價格ハ農商務大臣ノ指定スル所ニ依ルヘシ

資本金増額ノ場合ニ於テ増納スヘキ營業保證金ハ農商務大臣ノ指定スル日限マテニ其手續ヲ爲スヘシ

第五條 取引所ノ資本金ノ各株式ハ其株金ノ半額以上拂込前ニ讓渡ヲ爲スコトヲ得ス

第六條 會員組織ノ取引所ニ於テハ利益ヲ會員ニ分配スルノ目的ヲ以テ手数料ヲ徵收スルコトヲ得ス

第七條 取引所ニ於テ賣買雙方ヨリ徵收スル手数料ハ取引所ノ組織、賣買ノ物件、賣買ノ方法及賣買ノ狀

況ニ應シ賣買約定代金ノ千分ノ一ヲ超過スルコトヲ得ス

農商務大臣ハ必要ト認ムルトキハ前項ノ定限以内ニ於テ取引所ノ手数料ノ率ヲ改定セシムルコトヲ得

第八條 會員組織ノ取引所ハ毎年其總收入金ノ二十分ノ一ニ相當スル金額ヲ準備ノ積立金トシテ積置クヘ

シ但準備ノ積立金額資本金額ノ四分ノ一以上ニ達シタルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ其積立ヲ停止シ

若クハ其積立金額ノ率ヲ減少スルコトヲ得

第九條 取引所ノ準備ノ積立金ヲ支出セントスルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ受ケヘシ

第十條 取引所ハ毎日一定ノ時間ニ於テ直取引、延取引及定期取引ノ市場ヲ開閉スヘシ但定款ヲ以テ定期

及臨時休業ヲ爲スノ場合ヲ規定スルコトヲ得

第十一條 取引所ノ賣買取引ノ契約ハ現物、見本又ハ銘柄ニ依リ取替フヘシ

第十二條 取引所ノ賣買取引ノ契約履行ノ期限ハ當日ヨリ起算シ直取引ハ五日以内延取引ハ百五十日以内

賣買取引ノ日限ニ依リ定期取引ハ三箇月以内取引所指定ノ限月ニ依ルヘシ

第十三條 取引所ニ定期取引ニ限リ左ノ方法ヲ用ウルコトヲ得

一 單位ヲ定メテ賣買スルノ方法

二 競賣買ヲ爲スノ方法

三 米ニ限リ標準物ヲ以テ賣買契約ヲ爲シ取引所ニ於テ豫メ指定スル同種商品ノ格付ニ從ヒ代品ヲ以テ

受渡ヲ爲スノ方法

四 契約期限内ニ於テ爲シタル轉賣買戻ヲ取引所ノ帳簿ニ記載スル所ニ依リ相殺スルノ方法

五 賣買雙方ヨリ證據金ヲ差出サシムルノ方法

取引所ハ特ニ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ直取引及延取引ニ於テモ亦賣買雙方ヨリ證據金ヲ差出サシムルノ

方法ヲ用ウルコトヲ得

第十四條 取引所ニ於テ賣買取引ノ契約ヲ爲シタルトキハ賣買雙方ノ氏名賣買品ノ數量及其價格ヲ取引所

ノ帳簿ニ記載スヘシ

第十五條 賣買取引ノ物件代金ノ受渡ハ取引所ノ役員立會ノ上執行スヘシ

第十六條 取引所ノ仲買人免許料ノ金額ハ檢圖トス

第五編 税法

第一章 酒類

法律明治二十六年四月 朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル酒類營業税法ヲ裁下シ茲ニ之ヲ公布セシム

酒類營業税法

第一條 酒精(アルコール)又ハ他物ト混和シタル酒精ヲ販賣スル營業者ヲ分テ左ノ二種トス

甲種營業人

本條ノ物品ヲ製造シ又ハ買入レ之ヲ自用者ニ非サル者ニ販賣スル者

乙種營業人

本條ノ物品ヲ製造シ又ハ甲種營業人ヲ經由セシテ買入レ之ヲ自用者ニ販賣スル者

第二條 本法ノ營業ヲ爲サムトスル者ハ先ツ管廳ノ免許ヲ受クヘシ

第三條 營業ノ免許ヲ受クル者ハ政府ノ定ムル所ニ從ヒ保證金トシテ十圓以上千圓以下ヲ現金又ハ國債

證券ヲ以テ供託スヘシ

第四條 本法ノ税金ヲ納シタルトキハ保證金ノ一部又ハ全部ヲ以テ税金ニ充ツ仍不足スルトキハ明治二

十二年法律第三十二號國稅納金分法ニ據テ處分スヘシ

第五條 免許ヲ受ケタル者ハ左ノ算程ニ從ヒ營業稅ヲ納ムヘシ

甲種營業人

酒精(アルコール)一石ニ付金二十五圓ノ割合

乙種營業人

酒精(アルコール)一石ニ付金二十五圓ノ割合

營業人ヲ經由セシテ第一條ノ物品ヲ買取リ消費スル者ハ本條ニ準シテ納稅スヘシ

第六條 營業稅ハ翌年一月三十一日限之ヲ納ムヘシ但シ廢業スル者ハ其ノ際營業稅ヲ納ムヘシ

前項ノ期限内ト雖營業稅高第三條ノ保證金高ニ超過スルトキハ先ツ其ノ税金ヲ納メテ後之ヲ販賣スヘシ

第七條 第一條ノ物品ヲ醫藥用又ハ工業用ニ供スル者(造酒家ヲ除ク)ハ勅令ヲ以テ定ムル所ノ規定ニ從ヒ

其ノ營業稅ノ免除ヲ請フコトヲ得

第八條 營業者ハ帳簿ヲ製シ第一條物品ノ出入ニ關スル事項ヲ記載スヘシ

前項ノ帳簿ハ主任官吏ノ檢定ヲ受クヘシ

第九條 主任官吏ハ正當ノ命令ニ依リ營業者ノ營業ニ關スル帳簿物品等ヲ検査スルコトアルヘシ

第十條 無免許ニテ營業シタル者ハ其ノ現在酒精類及營業用ノ物品器械ヲ沒收シ營業稅三倍ノ罰金ニ處ス

但シ已ニ賣納キタルモノハ其ノ代價ヲ追徴ス
第十一條 帳簿ノ記載ヲ偽リ若クハ故ラニ記載ヲ爲サスシテ脱税ヲ圖リ又ハ脱税シタル者ハ十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二條 帳簿ノ調製記載ヲ怠リタル者ハ二十圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十三條 本法ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ不給罪及減輕再犯加重數罪俱發ノ例ヲ用井ス但シ刑法第七十五條第一項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラヌ

第十四條 本法ハ明治二十六年七月一日ヨリ施行ス

大藏省令 明治二十六年六月二十日第十號 酒精營業税法施行細則左ノ通相定ム

酒精營業税法施行細則

第一條 酒精營業ノ免許ヲ受ケントスル者ハ一箇年販賣見込石量ヲ記載シタル願書ヲ管廳ニ差出シ營業場一箇所毎ニ免許證札ヲ受クヘシ

營業場ハ倉庫建物ノ棟數ニ拘ハラス總テ一區域ヲ以テ一箇所トス其區域外ニシテ營業物品ヲ設置スルニ止マル場所ハ許可ヲ受ケ營業場ノ附屬トナスコトヲ得

第二條 前條ノ願書ニハ税法第三條ノ制限内ニ於テ一箇年販賣見込高ノ税金ト同額ナル現金又ハ國債證券ノ供託受領證ヲ添フヘシ但明治二十六年勅令第五十八號第二條ノ認許ヲ受ケントスル者ハ之ヲ要セス營業免許後販賣見込石量ヲ増加セントスルトキハ其都度申出テ税法第三條ノ最高額ヲ限度トシ保證金ヲ追補スルコトヲ得

營業免許後販賣見込石量ヲ減少セントスルトキハ其都度申出テ税法第三條ノ最低額ヲ限度トシ保證金ヲ減少スルコトヲ得

第三條 免許證札ヲ受クル者ハ鑑札料金二十錢ヲ納ムヘシ第十條ノ場合ニ於テモ亦同シ
鑑札料ハ明治二十五年大藏省令第三號ニ依リ登記印紙ヲ以テ納ムヘシ

第四條 税法第三條保證ニ充ツル國債證券ノ種類及價格ノ割合左ノ如シ

一 有利國債證券

一 大藏省證券

國債證券ハ明治二十三年勅令第四號第三條ノ價格ニ大藏省證券ハ其券面ノ金額ニ依ル

第五條 營業者ハ酒精營業免許ト書シタル標札ニ免許證札番號ヲ記載シ之ヲ戸外ニ掲出スシ

第六條 免許ヲ受ケタル者ハ營業開始後七日以内ニ其營業場ニ使用スル諸器機容器類ノ目錄並ニ地所諸建物ノ圖面ヲ所轄關稅分署ニ差出スヘシ但異動ヲ生シタルトキハ其時々掲出ツヘシ

第七條 營業者ハ税法第八條ニ基キ營業ノ種類ニ從ヒ左ノ帳簿ヲ調製シ其使用前所轄關稅分署ニ差出シ其檢定ヲ受クヘシ

一 酒精製造帳又ハ買入帳

一 酒精賣上帳

一 製造原料品買入及運携帳

税法第五條第二項ニ該當スル者ハ酒精買入帳及使用帳ヲ調製スヘシ

第八條 第六條ノ帳簿及左ノ帳簿書類ハ附込濟又ハ受授ノ翌年ヨリ三年ヨリ少ナカラサル期間保存スヘシ

一 營業ニ關スル金銀物品取扱帳

一 營業ニ關スル送狀仕切書及受取書

第九條 營業者ハ毎年其販賣酒精ノ石量又税法第五條第二項ニ該當スル者ハ其消費高ヲ翌年一月七日限リ管廳ニ届出ツヘシ但營業者廢業ノトキハ其際之ヲ届出ヘシ

税法第六條第二項ノ場合ニ於テハ販賣前其超過スヘキ見込石量ヲ届出ツヘシ

營業稅額ハ前各項ノ届出ニ依リ地方長官之ヲ査定ス

第十條 營業場ヲ移轉セントスルトキハ免許證札ヲ添へ管廳へ申出テ鑑札ノ書換ヲ請フヘシ
他ノ管轄地へ移轉セントスルトキハ免許證札ヲ添へ管廳ニ申出テ證書ヲ受ク之ヲ移轉地ノ管廳ニ差出シ

鑑札ノ書換ヲ請フヘシ

鑑札ヲ遺失毀損シタルトキハ直ニ管廳ニ届出テ鑑札ノ書換又ハ再發ヲ請フヘシ

第十一條 代替リノトキ又ハ氏名ヲ變更シタルトキハ直ニ管廳ニ届出テ免許鑑札ニ變更ノ記入ヲ請フヘシ

第十二條 營業者及稅法第五條第二項ニ該當スル者ニシテ酒精ヲ買入ル、トキハ若荷後三日以内ニ所轄間

稅分署ニ届出テ左ニ掲クル書類ノ一若クハ其他取引上證憑トナルヘキ書類ニ當該官吏ノ檢印ヲ受クヘシ

一 荷物送り狀

一 仕切書

一 代金領收書

第十三條 稅法第五條第二項ニ該當スル者住所氏名ヲ變更シタルトキハ直ニ其旨ヲ所轄間稅分署ニ届出ツ

第十四條 天災其他ノ事故ニ依リ酒精ノ廢棄ニ屬シタルトキハ直ニ所轄間稅分署ニ届出テ檢査ヲ受クヘシ

第十五條 營業者廢業スルトキハ管廳ニ申出テ鑑札ヲ返納スヘシ

第十六條 第十二條ニ違反シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處シ第五條第六條第九條第十條

第十一條第十三條第十四條第十五條ニ違反シタル者ハ十圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

勅令明治二十六年五月九日 脫酒精營業稅法第七條ニ依リ醫藥用及工業用酒精營業稅免除ニ關スル件ヲ裁可シ茲

ニ之ヲ公布セシム

第一條 酒精營業稅法第七條ノ醫藥用トハ日本藥局方ニ據リ製藥用ニ供スルモノ又ハ醫術用ニ供スルモノ

ヲ云ヒ工業用トハ工藝製作ノ用ニ供スルモノヲ云フ

第二條 醫藥用ノ爲メ酒精ヲ販賣又ハ使用スル者ニシテ營業稅ノ免除ヲ請ハント欲スル者ハ該管廳ニ申

出テ認許ヲ受クヘシ

第三條 前條ノ認許ヲ受ケタル者ハ醫藥用外ニ酒精ヲ販賣又ハ讓與スルコトヲ得ス

第四條 第二條ノ認許ヲ受ケタル者ハ醫師ノ證明書ヲ所持スル自用者、醫師、藥劑師、藥種商及製藥者ノ

外ニ酒精ヲ販賣又ハ讓與スルコトヲ得ス

第五條 認許ヲ受ケタル者ヨリ酒精ヲ買受ケ又ハ讓與ケタル醫師、藥劑師、藥種商及製藥者ハ其

酒精ヲ醫藥用外ニ使用スルコトヲ得ス

第六條 第二條ノ認許ヲ受ケタル者醫藥用ノ爲メ酒精ヲ販賣スルトキハ其都度量數代價及買受人ノ住所、

職業、氏名(醫師ノ證明書ヲ所持スル自用者ニ販賣シタル場合ハ住所氏名)ヲ帳簿ニ詳記シ每一箇月分

ノ月計ヲ附記シ左ノ書類ト共ニ翌月五日限リ管廳ニ提出シ帳簿ニ免稅ノ檢印ヲ受クヘシ其使用又ハ讓與

ニ係ルモノモ亦之ニ準スヘシ

一 醫師ノ證明書又ハ買受人若クハ讓受人ニ於テ量數年月日、住所、職業及氏名ヲ記載シ捺印シタル

注文書、物品領收書等

第七條 第二條ノ認許ヲ受ケタル者ヨリ酒精ヲ買受ケ又ハ讓與ケタル醫師、藥劑師、藥種商及製藥者ハ其

都度量數代價及買受人若クハ讓受人ノ住所氏名ヲ帳簿ニ記載シ置クヘシ

前項ノ酒精ヲ販賣スルトキハ其都度量數代價及買受人ノ住所氏名ヲ帳簿ニ詳記シ醫師ノ證明書(醫師ノ

場合ニ於テハ處方書)ヲ添ヘ置クヘシ其使用又ハ讓與ニ係ルモノモ亦之ニ準スヘシ

前各項ノ帳簿ハ當該官吏之ヲ檢査スルコトアルヘシ

第八條 工業用酒精ニ係ル營業稅ノ免除ヲ請ハント欲スル者ハ販賣若クハ使用以前ニ管廳ニ其量數ヲ届出

スヘシ此場合ニ於テハ當該官吏ハ百分ノ八乃至十ノ割合ヲ以テ買入ノ望ニ從ヒ酒精(メチールアルコール)

ル)若クハ石油ヲ混加スヘシ但其物品ノ費用ハ買入ノ望ニ從ヒスヘシ

第九條 第三條第四條第五條ヲ犯シタル者及第六條第七條ノ帳簿ノ記載ヲ詐リタル者ハ十圓以上二百圓以

下ノ罰金ニ處ス

大藏省訓令 明治二十六年七月 明治二十六年(五月)勅令第五十八號第八條ノ工業用酒精ニ混加スヘキ酒精
(ノ)チーアルアルコール)ハ其容器ニ内務省衛生試驗所ノ試驗済印紙貼附アルモノニ限リ之ヲ使用スヘシ

大藏省訓令 明治二十六年七月 明治二十六年(七月)當省訓令第二十二號内務省衛生試驗所ニ於テ酒精(ノ)チーアルアルコール)ノ容器ニ貼用スル印紙雛形ハ左ノ通但見本ハ別ニ之ヲ送付スヘシ

中形印紙雛形

彩色



右印紙大中小ノ三種トス

第十二章 所得稅

大藏省令 明治二十七年三月 明治二十七年(二月)大藏省令第三號所得稅法施行細則第一號舊式備考第三項甲種ノ上ニ(稅法第二條第二項ニ屬スルモノニシテ)ノ十七字ヲ加フ

第六編 印稅

第五章 烟草

大藏省令 明治二十六年十二月 明治二十一年(四月)當省令第三號烟草稅則施行細則中左ノ通改正追加ス

第六條左ノ通改正ス

烟草營業者不在其他事故アルトキハ代人ヲ置キ稅則ニ關スル諸般ノ事ヲ辨セシムヘシ會社營業ノ場合ニ於テモ亦之ニ準ス

但代人ノ氏名住所ハ所轄稅署ニ届出ヘシ

第七條左ノ但書ヲ追加ス

但會社ニシテ其業務ニ從事スル役員又ハ常時雇入ヲ以テ仕入出賣ヲ爲ス場合ハ本條ノ限リニアラス

第十條第二項左ノ通改正ス

製造烟草ニハ普通ノ文字ヲ以テ每箇ノ本數 定價及ヒ製造人ノ氏名(會社ニ在テハ社名)營業場ヲ鮮明ニ其包裹ノ表面ニ記入スヘシ

第十九條但書中「又ハ貨卷」ノ四字ヲ削除ス

大藏省令 明治二十七年三月 明治二十一年當省令第三號烟草稅則施行細則中左ノ通改正シ本年四月一日ヨリ實施ス

第十九條但書左ノ通改正ス

但第二十條ノ認許ヲ受ケタルモノハ此限ニアラス

第二十條第二項左ノ通改正ス

第二十條 烟草營業者營業場外ニ於テ烟草葉取葉持又ハ貨卷ヲ爲サシメントスルトキハ其仕業ノ種類及職工ノ住所氏名年齢ヲ詳記シタル書面ヲ添へ所轄稅署ニ申出テ認許ヲ受クヘシ

前項認許ヲ受ケタルモノハ通帳ヲ製シ烟草營業者何某使用職工住所何某ト記シ之ヲ職工ニ渡シ置キ烟草ヲ授受スヘシ但通帳ハ使用以前所轄稅署ニ差出シ檢印ヲ受クヘシ其附込濟又ハ使用ヲ止メタルトキハ其時々消印ヲ受クヘシ

總て烟草ヲ收受スルトキハ左ノ事項ヲ詳記シ收受ノ證トシテ其時々受取人ニ於テ副印スヘシ

- 一 仕上ケ原料葉烟草又ハ質卷原料烟草ノ量目及職工ノ受取タル年月日
- 一 仕上ケ日限、仕上ノ種類、量目(質卷烟草ハ原料刺煙草一斤又ハ百匁ニ付仕上ケ何分卷又ハ何印何分卷何百本量目何程ト區別記載スヘシ)
- 一 紙卷烟草ニ用ユル巻紙、口紙ノ數量

通報ハ一箇月分月計ヲ附シ置キ當該官吏ノ求メアルトキハ之ヲ差出シ検査ヲ受クヘシ
 營業者ハ職工ニ於テ烟草ヲ減失シタルトキハ三日以内ニ其官所轄收稅署ニ届出ツヘシ
 左ノ場合ニ於テハ五日以内ニ所轄收稅署ニ届出ツヘシ

- 一 職工ニ異動アリタルトキ
 - 一 通報紛失シタルトキ
 - 一 職工氏名ヲ變更シ又ハ住所ヲ移轉シタルトキ
- 第二十一條 烟草營業者又ハ烟草製作者葉烟草又ハ製造烟草ヲ運送スルトキハ送狀ヲ其荷物ニ添付スヘシ
 烟草送狀ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一 葉烟草ノ種類、母號、荷造ノ區別、箇數、量目、荷數、荷送主ノ氏名、住所
 - 一 製造烟草ノ種類、包裝ノ區別、箇數、荷送主ノ氏名、住所
- 第二十九條中第二十條ノ下「第一項乃至第五項第二十一條第二項」ノ十六字第十八條ノ下「第二十條第六項」ノ七字及第二十一條ノ下「第二項」ノ三字ヲ追加ス

第八編 交通

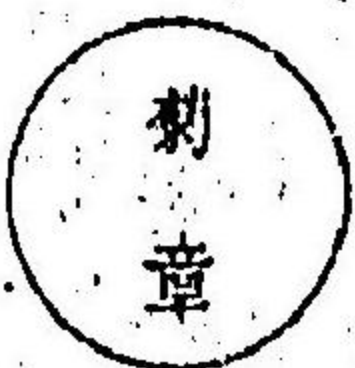
第九章 海技免狀 (增)

逓信省令明治二十六年九月十六號海技免狀取扱規則左ノ通相定メ明治二十六年十月一日ヨリ施行ス

海技免狀取扱規則

- 第二條 本則ニ於テ海技免狀ト稱スルハ西洋形船船長、運轉手、機關手免狀規則ニ依リ授與スル所ノ免狀ヲ謂フ
- 第三條 成規ノ試験ヲ受ケ船長、運轉手又ハ機關手タルノ及第證書ヲ得タル者海技免狀ヲ受有セントスルトキハ其願書ニ試験及第證書ノ謄本ヲ添ヘ試験ヲ受ケタル船舶檢所ヲ經由シテ逓信省ニ差出スヘシ
 西洋形船船長、運轉手、機關手免狀規則第八條ニ依リ外國政府ノ海技免狀ヲ受有スル者ニシテ帝國政府ノ海技免狀ヲ受有セントスル者ハ其願書ニ其免狀ノ謄本及履歷證明書並ニ本邦人ニ在テハ所管市町村長外國人ニ在テハ本國領事ノ身分證明書ヲ添ヘ最寄船舶檢所ヲ經由シテ逓信省ニ差出スヘシ
- 第四條 前條ハ出願者アリタルトキハ逓信省ニ於テ海員名簿ニ登錄シタル後第一號第二號第三號若クハ第四號書式ノ海技免狀ヲ調製シ本人又ハ其代理人ニ交付ス
- 第五條 第二條第一項ニ據リ海技免狀ノ下附ヲ出願スル者至急航海ヲ要シ其下附ヲ待ツノ暇ナキトキハ及第證書ノ日附ヨリ起算シ三箇月以内該證書ヲ以テ海技免狀ニ代用スルコトヲ得
- 第六條 下等ノ海技免狀ヲ受有スル者高等ノ海技免狀ヲ受有スルトキハ直ニ下等ノ海技免狀ヲ逓信省ニ返納スヘシ
- 第七條 海技免狀ヲ亡失若クハ毀損シタルトキ又ハ氏名其他免狀面記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ三十日以内ニ其事由ヲ具シ氏名ヲ變更シタル場合ニ於テハ所管市町村長ノ證明ヲ受ケ免狀ノ書替若クハ再授ヲ逓信省ニ願出ツヘシ
- 第八條 第二條及第六條ニ依リ海技免狀ノ下付證書若クハ再授ヲ願出ツル者ハ手数料トシテ金壹圓ヲ納ム
- 第九條 海技免狀ヲ受有スル者族籍ヲ變更シタルトキハ所管市町村長ノ證明ヲ受ケ三十日以内ニ逓信省ヘ届出ツヘシ
- 第十條 海技免狀ヲ受有スル者族籍若クハ死亡シタルトキハ其事由ヲ具シ本人又ハ遺族者ヨリ三十日以内

ニ該免狀ヲ逓信者ニ返納スヘシ
 第十條 第五條第六條第八條第九條ニ違フシタル者ハ貳圓以上貳拾圓以下ノ罰金ニ處ス
 附則
 第十一條 本則施行以前ニ於テ廢業若クハ死亡シ又ハ族籍氏名ヲ變更シタル者アルトキハ本則施行ノ日ヨリ三十日以内ニ第六條第八條又ハ第九條ニ定ムル手續ヲ履行スヘシ
 第一號書式(竪九寸横一尺二寸)裏面英譯ヲ付ス



刺印

第 號

花紋

海技免狀

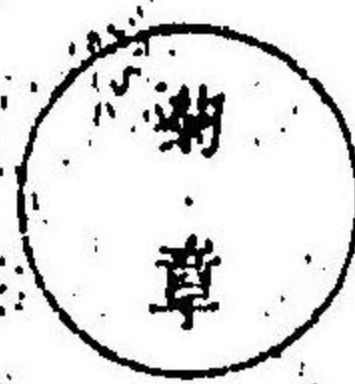
廳府縣華士族平民

氏 名

生年月日

右者成規ノ試験ニ及第シ日本船舶ニ於テ甲種何々ノ職務ヲ執ルニ適當ナリト認ムルヲ以テ明治十四年十二月第七十五號布告西洋形船舶長運轉手續關手免狀規則第二條ニ據リ此免狀ヲ授與ス

明治 年 月 日



刺印

第 號

花紋

海技免狀

廳府縣華士族平民

氏 名

生年月日

右者何國假令ハ其國政府ノ何々海技免狀ヲ受有シ日本船舶ニ於テ甲種何々ノ職務ヲ執ルニ適當ナリト認ムルヲ以テ明治十四年十二月第七十五號布告西洋形船舶長運轉手續關手免狀規則第八條ニ據リ此免狀ヲ授與ス

明治 年 月 日

逓信大臣 氏 名 印

第二號書式(竪九寸横一尺二寸)裏面英譯ヲ付ス

第十一編 雜則

第一章 鑛業

農商務省令 明治二十六年五月十九日 明治二十五年農商務省令第六號鑛業條例施行細則中左ノ通り改正ス
第七條 第一項中「若クハ補充」ノ五字ヲ削リ第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

地方長官ハ試掘願書採掘願書又ハ修正圖面ニ記載シタル出願地ノ都市町村大字小字名ヲ土地臺帳若クハ其他ノ公簿ニ照シ其異同ヲ前項ノ意見ト同時ニ通知若クハ上申スヘシ

第三十條中第一號ノ次ニ左ノ通り第二號ヲ追加シ以下順序繰下ケ更ニ第八號ヲ追加ス

二、本則第七條第一項ノ屆書ヲ期限内ニ差出サ、ルトキ
八、試掘願書採掘願書又ハ修正圖面記載ノ都市町村大字小字名土地臺帳若クハ其他ノ公簿ニ符合セザルトキ

第三十一條中「本則」ノ上ニ「鑛業條例第三十九條ノ届出ヲ爲サ、ル者及」ノ十九字ヲ加フ

第三十三條中「本則第七條第一項」ノ八字ヲ削ル

農商務省令 明治二十六年九月 明治二十五年農商務省令第六號鑛業條例施行細則中左ノ通り改正追加ス
第七條第二項ヲ左ノ如ク改ム

地方長官前項ノ届書ヲ受取リタルトキハ試掘又ハ採掘ノ事業カ公益ニ害アルヤ否ヲ取調ヘ届書ヲ受取リタル日ヨリ三十日以内ニ試掘ニ就テハ所轄鑛山監督署長ニ其意見ヲ通知シ採掘ニ就テハ農商務大臣ニ其意見ヲ上申スヘシ

第三十五條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第三十六條 明治二十六年五月十九日以前(明治二十六年五月十九日農商務省令第十號發布以前)ニ試掘又ハ採掘ヲ出願シタル者及ヒ試掘願書採掘願書又ハ其添付圖面ヲ修正シタル者ニシテ本則第七條第一項ノ届出ヲ爲サ、ルトキハ所轄鑛山監督署長ハ二十日以内ノ期限ヲ定メ出願人ニ若届書ノ差出ヲ命スヘシ

出願人ニ於テ右期限内ニ前項ノ届書ヲ差出サ、ルトキハ其出願ヲ無効トス

第三十六條「第三十七條」トス

農商務省訓令 明治二十六年七月四日 他人ノ採掘セル鑛石ヲ買入レ製煉スル者又ハ砂鑛ヲ製煉スル者アルトキハ左ノ條項ニ準據シ取扱フヘシ

一新ニ從事スル者アルトキハ製煉場ノ位置、製煉人ノ住所、族籍、姓名ヲ其都府報告スヘシ
製煉人ヲシテ左ノ雜形(略ス)ニ依リ一箇年ノ工程ヲ取調ヘ翌年二月中心ニ差出サシムヘシ

但鑛業條例ニ掲グル鑛業人ト雖買入鑛石ニ係ル分ハ前項ニ據ラシムヘシ

第七類 拾遺

第一編 憲法ニ關スル諸典

第二章 法例、公文式

勅令 明治二十六年十月三日 陸地方官廳ノ發スル命令ノ公布式ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 警視廳令、北海道廳令、府縣令、島廳令及郡令ニハ其ノ警視廳令、北海道廳令、府縣令、島廳令又ハ郡令ナルコトヲ明記シ警視廳令、北海道廳長官、府縣知事、島司又ハ郡長各之ニ署名シ公布ノ年月日ヲ記入シテ同日之ヲ公布スヘシ

第二條 警視廳令、北海道廳令及府縣令ヲ公布スルノ方法ハ警視廳令、北海道廳令又ハ府縣令ノ定ムル所ニ依ル

第三條 警視廳令、北海道廳令及府縣令ハ特ニ施行ノ期日ヲ掲グルモノヲ除クノ外警視廳令、北海道廳令又ハ府縣令中ニ記入シタル公布ノ日ヨリ起算シ七日ヲ經テ之ヲ施行ス但島廳又ハ郡役所所在ノ島地ニ在テハ其ノ所轄島廳又ハ郡役所ニ到達シタル日ヨリ起算シ其ノ他ノ島地ニ在テハ所轄町村役場又ハ戸長役場ニ到達シタル日ヨリ起算ス

警視廳令、北海道廳令及府縣令ヲ登載シタル印刷物ヲ管内一般ノ島廳、郡區役所、町村役場又ハ戸長役場ニ配付スルヲ以テ公布ノ方法ト定メサル場合ニ於テモ前項ノ島廳、郡役所、町村役場又ハ戸長役場ニ對シテハ仍該令ヲ登載シタル印刷物若クハ謄本ヲ配付スヘキモノトス

第四條 島廳令及郡令ハ特ニ施行ノ期日ヲ掲グルモノヲ除クノ外島廳令又ハ郡令ニ記入シタル公布ノ日ヨリ起算シ七日ヲ經テ之ヲ施行ス但島廳及郡役所所在ノ地ヲ除クノ外島地ニ在テハ其ノ所轄町村役場又ハ戸長役場ニ到達シタル日ヨリ起算ス

島廳令及郡令ヲ登載シタル印刷物若クハ謄本ヲ部内一般ノ町村役場又ハ戸長役場ニ配付スルヲ以テ公布ノ方法ト定メサル場合ニ於テハ前項ノ町村役場又ハ戸長役場ニ對シテハ仍該令ヲ登載シタル印刷物若クハ謄本ヲ配付スヘキモノトス

附則

第五條 北海道區長ノ發スル區令ニハ本令中郡令ニ關スル規程ヲ適用ス

第十七章 辯護士法

司法省令 明治二十六年四月十日第五號 辯護士名簿登錄規則左ノ通相定ム

辯護士名簿登錄規則

第一條 辯護士名簿ニ登錄ヲ請フ者ハ登錄請求書ニ辯護士法第十條ノ手数料金額ニ相當スル登記印紙ヲ貼付シ所屬地方裁判所檢事局ヲ經由シテ之ヲ司法大臣ニ差出ス可シ

第二條 地方裁判所檢事局ニ於テ登錄請求書ヲ受理シタルトキハ檢事正ハ辯護士法第二條乃至第六條ノ要件ヲ調査シ意見ヲ付シ之ヲ司法大臣ニ差出ス可シ

第三條 辯護士名簿ノ登錄ハ司法大臣ノ命令ニ因リ地方裁判所檢事局ニ於テ之ヲ爲ス

登錄ノ取消ハ辯護士ノ請求ニ因リ又辯護士死去シタルトキハ辯護士會長ノ申告ニ因リ又辯護士法第五條ニ該當シ又ハ除名セラレタル者アルトキハ受訴裁判所檢事ノ通知ニ因リ地方裁判所檢事局ニ於テ之ヲ爲ス

第四條 辯護士名簿ニハ左ノ諸件ヲ記入ス可シ

- 一 辯護士ノ族籍氏名年齢
- 一 登錄ノ年月日
- 一 辯護士會加入ノ年月日
- 一 事務所
- 一 懲戒

第五條 地方裁判所檢事局ニ於テ辯護士名簿ニ登錄ヲ爲シタルトキハ其登錄ノ番號及年月日ヲ司法大臣ニ報告シ且之ヲ本人ニ通知ス可シ

登錄ヲ取消シタルトキモ亦同シ

第六條 辯護士名簿ニ登錄ヲ爲シタルトキ又ハ登錄ヲ取消シタルトキハ司法大臣ハ官報ヲ以テ之ヲ公告ス

第七條 辯護士會長ハ辯護士會ニ加入シタル者ノ氏名及加入ノ年月日ヲ所屬地方裁判所檢事局ニ届出ツ可シ

第三編 刑事訴訟法ニ關スル諸典

第六章 間税國稅犯則處分法施行細則

大藏省令 明治二十六年十一月廿一日 明治二十三年十一月廿一日 當省令第三十一號 間接國稅犯則者處分法施行細則第十三條ヲ削除ス

第六編 商法ニ關スル諸典

第一章 商法施行條例

法律 明治二十六年十二月二十九日 第十九號 帝國議會ノ協贊ヲ經テ商法施行條例追加法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム 明治二十三年法律第五十九號 商法施行條例第八條第二項ニ左ノ通り但書ヲ追加ス 但特ニ法律ヲ以テ定メタル株式會社ハ附記スルヲ要セス

第二章 銀行條例

大藏省令 明治二十六年五月一日 第七號 明治二十三年法律第七十二號 銀行條例施行細則左ノ通相定ム 銀行條例施行細則

第一章 銀行ノ設立

第一節 合名會社及合資會社

第一條 合名會社ノ組織ヲ以テ銀行ノ事業ヲ營マントスルモノハ營業科目、資本金額並ニ存立時期ヲ定メタルトキハ其時期ヲ記載シタル願書ニ會社契約及ヒ左ノ事項ヲ記載シタル參考書ヲ添ヘ地方長官ヲ經由シ大藏大臣ニ差出シ其認可ヲ受クヘシ
第一 會社ノ社名及ヒ營業所
第二 各社員ノ氏名

第三 開業セントスル年月日

第四 業務擔當社員ヲ特ニ定メタルトキハ其氏名及ヒ住所

第五 支店ヲ置クトキハ其場所及ヒ名稱

第二條 合資會社ノ組織ヲ以テ銀行ノ事業ヲ營マントスルモノハ營業科目、資本金額並ニ存立時期ヲ定メタルトキハ其時期ヲ記載シタル願書ニ會社契約及ヒ左ノ事項ヲ記載シタル參考書ヲ添ヘ地方長官ヲ經由シ大藏大臣ニ差出シ其認可ヲ受クヘシ

第一 各社員ノ出資額

第二 會社ノ社名及ヒ營業所

第三 各社員ノ氏名

第四 開業セントスル年月日

第五 無限責任社員アルトキハ其氏名

第六 業務擔當社員ノ氏名及ヒ住所

第七 支店ヲ置クトキハ其場所及ヒ名稱

第三條 合名會社合資會社ハ大藏大臣ノ認可ヲ得テ設立シタルトキハ事業着手前ニ商法第七十九條又ハ同法第百三十八條ノ事項ヲ登記スルノ手續ヲ爲スヘシ

第四條 合名會社合資會社營業科目、資本金額及ヒ存立時期ヲ變更セントスルトキハ地方長官ヲ經由シ更ニ願書ヲ大藏大臣ニ差出シ其認可ヲ受クヘシ

第五條 會社契約及ヒ參考書ニ掲ケタル事項ニ變動アルトキハ地方長官ヲ經由シ速ニ大藏大臣ニ届出ツヘシ 前條ニ依リ認可ヲ受クヘキ事項ニシテ商法第八十條ノ登記ヲ要スルトキハ認可ヲ得タル後七日以内ニ其登記ヲ受クヘシ

第六條 合名會社合資會社ハ認可並ニ登記ヲ要スル事項ニツキテハ大藏大臣ノ認可ヲ得ルモ商法第七十八條又ハ同法第八十條ノ登記ヲ受ケサルカ若ク商法第八十二條ニ依リ登記ノ效ヲ失ヒタルトキハ其認可ノ

效力ヲ生セサルモノトス

第二節 株式會社

第七條 株式會社ノ組織ヲ以テ銀行ノ事業ヲ營マントスルモノハ四人以上ノ發起人連署捺印シテ目論見書及ヒ假定款ヲ地方長官ヲ經由シ大藏大臣ニ差出シ發起ノ認可ヲ請フヘシ

第八條 創業總會ノ終リシ後發起人ハ營業科目資本金額並ニ存立時期ヲ定メタルトキハ其時期ヲ記載シタル願書ニ目論見書定款株式申込簿發起ノ認可證及ヒ左ノ事項ヲ記載シタル參考書ヲ添ヘ地方長官ヲ經由シ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第一 會社ノ社名及ヒ營業所

第二 取締役ノ氏名及ヒ住所

第三 開業セントスル年月日

第四 支店ヲ置クトキハ其場所及ヒ名稱

第九條 株式會社設立ノ認可ヲ得テ發起人ヨリ事務ノ引渡シヲ爲シタルトキハ取締役ハ定款ノ定ムル所ニ從ヒ株主ヲシテ株金ノ拂込ヲ爲サシムヘシ

前項ノ拂込金額各株式ノ四分ノ一以上ニ達スルトキハ事業著手前ニ商法第百六十八條ニ依リ登記ノ手續ヲ爲スヘシ

第十條 株式會社營業科目資本金額及ヒ存立時期ヲ變更セントスルトキハ地方長官ヲ經由シ更ニ願書ヲ大藏大臣ニ差出シ其認可ヲ受クヘシ

會社定款及ヒ參考書ニ掲ケタル事項ニ變動アルトキハ地方長官ヲ經由シ速ニ大藏大臣ニ届出ツヘシ

第十一條 株式會社ハ前條ニ依リ認可ヲ受クヘキ事項ニシテ商法第二百十條ノ登記ヲ要スルトキハ認可ヲ得タル後直ニ其登記ヲ受クヘシ

第十二條 株式會社ハ認可並ニ登記ヲ要スル事項ニツキテハ大藏大臣ノ認可ヲ得ルモ商法第百六十八條又ハ同法第二百十條ノ登記ヲ受ケサルカ若クハ同法第百七十條及ヒ第八十二條ニ依リ登記ノ效力ヲ失ヒタル

トキハ其認可ノ効力ヲ生セサルモノトス

第三節 各人

第十三條 各人ニ於テ銀行ノ事業ヲ營マントスルトキハ營業科目並ニ資本金額ヲ記載シタル願書ニ左ノ事項ヲ記載シタル參考書ヲ添ヘ地方長官ヲ經由シ大藏大臣ニ差出シ其認可ヲ受クヘシ

第一 營業所

第二 開業セントスル年月日

第三 支店ヲ置クトキハ其場所及ヒ名稱

第十四條 營業科目及ヒ資本金額ヲ變更セントスルトキハ地方長官ヲ經由シ更ニ願書ヲ大藏大臣ニ差出シ其認可ヲ受クヘシ

第二章 營業

第十五條 銀行ハ營業上切ノ取引ニ使用スル印章ヲ定メ其印鑄ハ地方長官ヲ經由シ之ヲ大藏大臣ニ差出スヘシ改印スルトキモ亦同シ

第十六條 本店及ヒ支店ニ於テ營業ヲ開始スルトキハ地方長官ヲ經由シ其期日ヲ大藏大臣ニ届出ツヘシ

第十七條 銀行ハ其名稱ヲ掲牌ニ記載シ營業時間中ハ之ヲ其銀行ノ店前公衆ノ目ニ觸レ易キ所ニ掲ケヘシ

第十八條 銀行ニシテ支拂ヲ停止スルトキハ地方長官ハ其事由ヲ具シ直ニ之ヲ大藏大臣ニ報告スヘシ

第十九條 各人ニシテ銀行ノ事業ヲ營ムモノ其營業ヲ廢止スルカ又ハ破産ヲ宣告セラレタルモノアルトキハ地方長官ハ其年月日及ヒ事由ヲ具シ直ニ之ヲ大藏大臣ニ報告スヘシ

第二十條 合名會社合資會社ニシテ銀行ノ事業ヲ營ムモノ其營業ヲ廢止スルカ又ハ解散スルトキハ地方長官ハ其年月日及ヒ事由ヲ具シ直ニ之ヲ大藏大臣ニ報告スヘシ

商法第二百三十四條及同法第二百五十五條第二項ノ届出ハ地方長官ヲ經由シ之ヲ大藏大臣ニ差出スヘシ

第二十二條 地方長官ハ銀行ニシテ法令ニ違反スルモノアリト認ムルトキハ其事故ヲ具シ直ニ之ヲ大藏大臣ニ報告シ其指揮ヲ請フヘシ

第三章 報告及ヒ公告

第二十三條 銀行條例第三條及ヒ第四條ノ半箇年ハ毎年一月ヨリ六月マテ及ヒ七月ヨリ十二月マテトシ之ヲ銀行ノ營業年度トス

第二十四條 銀行條例第三條ノ營業報告書ハ附屬簿形ニ準シテ調製シ每營業年度經過後二箇月以内ニ之ヲ製造スヘシ但シ遠隔ノ地ニ支店ヲ有シ本條ノ期日内ニ報告書ヲ發送スル能ハサルモノハ地方長官ヲ經由シ豫メ大藏大臣ノ認可ヲ受ケ其期日ヲ定ムルコトヲ得

第二十五條 銀行ハ前條ノ報告書ヲ發送スル下同時ニ銀行條例第四條ノ公告ヲ爲スヘシ

第二十六條 銀行ノ營業所アル地方ニ於テ刊行スル新聞紙アルトキハ他地方ノ新聞紙ニ公告スルト否トニ拘ラス所在地方ノ新聞紙ニ公告スルヲ要ス

銀行ノ營業所アル地方ニ刊行ノ新聞紙ナキトキハ最寄地方又ハ取引先多キ地方ノ新聞紙ニ公告シ尚ホ營業所ノ店前ニ揭示シテ公告スヘシ

第二十七條 銀行條例第七條但書ニ依リ休業セントスルモノハ少ナクとも三日以前地方長官ニ届出テ同時ニ銀行ノ營業所アル地方ニ於テ刊行スル新聞紙ニ公告スヘシ

銀行ノ營業所アル地方ニ刊行ノ新聞紙ナキトキハ營業所ノ店前其他公衆ノ目ニ觸レ易キ場所ニ少ナクとも三日以前ヨリ公告スヘシ

第二十八條 銀行ヨリ大藏大臣ニ差出スヘキ書類ハ總テ地方長官ヲ經由スヘシ

地方長官ハ前項ノ書類ヲ調査シ意見アルトキハ之ヲ添付シテ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四章 検査

第二十九條 銀行條例第八條ニ依リ検査ヲ爲ストキハ其検査ヲ命セザレタル官吏ハ検査官タル證書ヲ携帶スヘシ

第三十條 銀行ハ検査官ニ於テ検査上必要トスル營業用ノ金匣財産現在高帳簿及ヒ總テノ書類ハ其要求ニ應ジテ之ヲ示シ又ハ説明ヲ爲スヘシ

第三十一條 検査官検査ヲ結了シタルトキハ其検査ノ顛末ヲ速ニ大藏大臣ニ報告スヘシ

第五章 補則

第三十二條 銀行條例實施前ヨリ既ニ設立シタル株式會社ニシテ銀行ノ事業ヲ營ムモノ銀行條例施行後ニ其事業ヲ繼續セシトスルトキハ商法施行條例第十條ニ依リ大藏大臣ノ認可ヲ受ケタヘシ

第三十三條 銀行條例實施前ヨリ既ニ設立シタル合名會社合資會社又ハ各人ニシテ銀行ノ事業ヲ營ムモノ銀行條例施行後ニ其事業ヲ繼續セシトスルトキハ本規則第一條第二條又ハ第十三條出願ノ手續ニ準據シ本年六月三十日マテニ地方長官ヲ經由シ大藏大臣ニ届出ツヘシ

前項届出ヲ爲サルモノハ總テ新ニ其事業ヲ開始スルモノト見做スヘキヲ以テ本規則第一章ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタヘシ

第一號

第何期營業報告書

何所何何何銀行名稱

明治何年一月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル半年間當銀行營業ノ成績ヲ蒐集シ別紙貸借對照表、損益表及ヒ財産目錄ヲ添テ茲ニ報告ス

資本金

當銀行現在資本金何万圓株式何株ニシテ(内拂込高何万圓拂込未済高何万圓又ハ内當期間増加高何万圓又ハ外當期間減少高何万圓)當期間當銀行帳簿ヘ記入シタル株式賣買讓與ノ總數ハ何株内何株無代價讓與ノ分差引何株此代價何圓ニシテ其平均代價ハ何圓何錢ニ當レリ而シテ現在株主ノ姓名株數ハ冊尾ニ附載セリ

合名又ハ合資ノ銀行ハ左ノ如ク記スヘシ
 當銀行現在資本金何万圓(内當期間増加高何万圓又ハ外當期間減少高何万圓)又社員ハ何名ニシテ其姓名
 出資額ハ冊尾ニ附載セリ而シテ當期間何々ノ事故ニ依リ入社何名退社何名其姓名及ヒ各自ノ出資額左ノ如
 シ

入社ノ分
 金何圓
 退社ノ分
 住所
 職業
 姓名

金何圓
 同
 同
 同

(各人ノ銀行ハ前文ニ準シ資本金額ヲ記載スヘシ)
 株主(又ハ社員)總會
 (本項ハ通常及ヒ臨時總會ニ於テ決議又ハ認定ヒシ利益ノ配當、役員ノ選舉、資本金ノ増減、支店ノ廢置其他
 定款又ハ契約書ノ變留等ニ關スル件々ノ要領ヲ掲載スヘシ)

處分ノ要件
 (本項ハ商業登記簿ニ登記ヲ受ケタル事項、主務省及ヒ地方廳ハ願何屆等ノ事項、訴訟其他緊要ノ件々ニ關
 スル要領ヲ掲載スヘシ)
 營業ノ景況

(本項ハ本支店營業ノ盛衰、金融ノ繁閑貸借金利及ヒ割引歩合ノ高低、各種勘定ノ伸縮其他資金運用等ニ關
 スル景況ヲ掲載スヘシ)
 金銀出納

本	店	日數	入	金	高	出	金	高
		圓						

何	支	店	計
合	計		

(入金高出金高ノ折ニハ半年間ノ總入金高及ヒ總出金高ヲ記スヘシ但シ前期ヨリ繰越ノ金高ハ算入セサ
 ルモノトス)
 諸預リ金

本店	勘定科目	總	預	高	排	戻	高	現	預	高
何支店	定期預金	當座預金	定期預金	當座預金	定期預金	當座預金	定期預金	當座預金	定期預金	當座預金

(總預高ノ折ニハ當期間ノ預リ高並ニ前期ヨリ繰越シタル預リ高ヲモ合算シテ掲載スヘシ○又茲ニ掲載
 シタル外ニ公金其他別種ノ預金アルトキハ右ニ準シ掲載スヘシ)
 諸貸金

合計	何支店		本店		勘定科目	總貸高	返済高	現貸高日數
	貸付金	當座預金貸越	貸付金	當座預金貸越				
當座預金貸越								

(總貸高ノ折ニハ當期間ノ貸高並ニ前期ヨリ繰越シタル貸高ヲモ合算シテ掲載スヘシ○又口數ノ折ニハ現貸高ノ口數ヲ掲載スヘシ○又當期ノ決算ニ於テ若シ該貸金ノ中損失ニ歸シタルモノアルトキハ其金額及ビ口數ヲ並ニ掲載スヘシ)
右現貸高ヲ抵當質物ノ種類ニ依リテ區別スレハ左ノ如シ

現貸金高	抵當質物種類

合計	本店		地所並建築家
	無抵當	有抵當	

(現貸高ノ折ニハ貸付金及ビ當座預金貸越ノ現貸高ヲ抵當質物ノ種類ニ依リテ合算シテ掲載スヘシ○支店ハ本店ニ準シ掲載スヘシ)
割引手形

合計	何支店		本店		手形種類	枚數	金高	所	他	所
	爲替手形	約束手形	爲替手形	約束手形						
約束手形										
爲替手形										

(本項ハ當期間ニ割引シタル手形ヲ其支拂地ハ世所(銀行所在地)他所及ヒ其種類ニ依リ區別シテ之ヲ掲載スヘシ)

荷爲替手形

合 計	何 支 店	本 店	各地へ向ケタル分		各地ヨリ受ケタル分	
			枚數	額	枚數	額

(本項ハ當期間ニ取組ミタル金額ヲ掲載スヘシ)
送金手形

何 支 店	本 店	爲替金種類		各地へ向ケタル分		各地ヨリ受ケタル分	
		普 通 金	公 金	枚數	額	枚數	額

(本項ハ當期間ニ取組ミタル金額ヲ掲載スヘシ)○公金ノ桁ニハ國庫及ヒ爲替方其他諸官衙郡區市町村等ニ係ル爲替金ヲ掲載スヘシ)
代金取立手形

合 計	何 支 店	本 店	手形種類		常 所		他 所	
			約束手形	爲替手形	枚數	額	枚數	額

(本項ハ當期間ニ代金取立ノ依頼ヲ受ケタル手形ヲ其支拂地ノ世所他所及ヒ其種類ニ依リ區別シテ掲載スヘシ)又爲替手形約束手形ノ外ニ賣掛證書等ノ代金取立ノ依頼ヲ受ケタルトキハ別ニ約束手形ノ次ニ一科目ヲ設ケ掲載スヘシ)

(前四項即チ割引手形爲替手形送金手形代金取立手形ノ内若シ支拂拒却又ハ組戻ナルモアリシトキハ各項ノ末ニ別ニ其手形ノ種類枚數金額等ヲ掲載スヘシ但シ前項ヨリ繰越ハ分ニシテ拒却又ハ組戻トナリタルモモ亦共ニ掲載スルモノトス

諸公債証券

合計	何支店		本店		價格	總買入高	賣渡又ハ償還高	現在高
	實價	券面	實價	券面				

右諸公債証券ノ利益(又ハ損失)ニ歸シタル金額ハ何圖ナリ
 (總買入高ハ當期買入高並ニ前期繰越高ヲ合算シテ掲載スヘシ)
 (現所有高賣價ノ折ニハ決算當日ニ於ケル現在所有高ノ市價即チ見積代價ヲ掲載スヘシ例ハ現在所有高ノ元買入代價ハ五千圓百圓ナリシニ其市價五千五百五十圓ニ騰貴シタリトセハ現所有高ノ賣價ノ折ニ五千五百五十圓ト記入スルモノトス而シテ其市價ニ照シ利益ニ歸シタル高ハ各百五十拾圓ナリ)○地金銀又ハ地所建物其他各勘定ニ於テ損益ヲ見ルヘキ場合ハ總テ此例ニ依ルヘシ)

右現在高ヲ其種類ニ依テ區別スレバ左ノ如シ

合計	何支店				本店			種類	券面	實價
	何市公債	何公債	何公債	何公債	何市公債	何公債	整理公債			

地金銀			種類	總買入高	賣渡高	現所有高
本店	金	銀				

當銀行水支店「コルレスポシテ」先ハ現今幾箇ニシテ前年季ニ比スレハ幾箇ヲ増減セリ其増減先ノ如シ

水支店	何地何銀行	何銀行何地支店	何々會社若クハ誰某
支店	何地何銀行	何銀行何地支店	何々會社若クハ誰某
何地何銀行	何銀行何地支店	何々會社若クハ誰某	
何地何銀行	何銀行何地支店	何々會社若クハ誰某	

損益

一金何圓
 一金何圓
 一金何圓
 合計金何圓
 内
 一金何圓
 一金何圓
 小計何圓
 差引
 金何圓

本店當期總益金
 各支店當期總益金
 前期繰越益金
 本店當期總損金
 各支店當期總損金
 同純益金

此配當計算左ノ如シ
 金何圓
 金何圓
 金何圓
 右之通候也



前記ノ各項調査ヲ逃ケ其正確ナルヲ保證候也

(合名及ヒ合資銀行ハ業務擔當社員連署シ各人ハ本人署名スヘシ)
 株主(又ハ社員)姓名表

姓	名	株	數	姓	名	株	數

積立金何圓ニ付金
 配當金何圓ノ
 後季繰入込

何銀行
 取締役何 某印
 同 同
 同 同
 同 同
 監査役何 某印
 同 同

第何期貸借對照表
明治何年+二月+日

(第四號)

借方		摘要	貸方	
		定期預金	21,500	000
		當座預金	52,165	500
		支拂送金手形	4,400	000
		他店ヨリ借(幾箇所)	14,708	500
何			
縣府			
何			
郡市			
何	20,000	貸付金		
村町	1,800	當座預金貸越		
	51,471	割引手形		
	4,300	荷爲換手形		
	7,506	公債証券		
	29,524	他店へ貸(幾箇所)		
何			
銀行	50,000	資本金	100,000	000
		拂込未済資本金		
		積立金	7,000	000
		当期純益金	2,464	000
印	2,000	營業用地所建物		
	250	營業用什器		
		(正貨) 9,866.660		
	95,087	金銀(紙幣)兌換	29,624	000
		有高(換券)		
		(切手手形) 2,496.940		
			
	212,288	合計	212,238	000

(四十五)

何地支店貸借對照表
明治何年+六月+日

(第三號)

借方		摘要	貸方	
		定期預金	8,500	000
		當座預金	25,112	500
		支拂送金手形	1,859	000
		他店ヨリ借(幾箇所)	12,108	500
		本店ヨリ借	4,100	000
何			
縣府			
何			
郡市	12,400	貸付金		
何	534	當座預金貸越		
村町	19,286	割引手形		
	1,800	荷爲換手形		
	2,306	公債証券		
	11,024	他店へ貸(幾箇所)		
何			
銀行			
支店		支店元金	5,000	000
		当期純益金	488	000
印	700	營業用地所建物		
	50	營業用什器		
		(正貨) 1,305.110		
	9,061	金銀(紙幣)兌換	6,025	000
		有高(換券)		
		(切手手形) 1,730.800		
			
	57,162	合計	57,162	000

(四十四)

財產目錄

明治何年何月何日

第六號

種類	摘要	金額
貸付金證券	三十通	20,900 000
當座預金貸越	二十口	1,300 000
割引手形	三十枚	51,411 000
荷爲換手形	十五枚	4,300 000
國債手形	券面七千圓	5,506 000
地方債證券	券面二千圓	2,000 000
他店へ貸	何箇所	20,524 000
營業用地所	三百坪	800 000
營業用家作土藏	三棟建坪七十坪	1,200 000
營業用什器	金匣外何點	250 000
拂込未済借金	現株主二十名株式二千株又、社員幾名	50,000 000
金銀有高		35,987 000
合計		212,238 000

何縣府何郡市何村町何銀行印

損益表

明治何年何月何日

(第五號)

損失	摘要	利益
	當期利益	
	利息	952 000
	手数料	854 000
	割引料	1,516 500
	公債利息	185 000
	公債賣買益	595 000
	前期繰越	65 000
	當期損失	
565 000	給料	
958 500	租費	
780 000	損失	
	純益金	
4,500 000	積立金	
2,000 000	配當金 (拂込資本高百圓ニ付四圓ノ割)	
14 000	後期繰越	
4,167 500	合計	4,167 500

何縣府何郡市何村町何銀行印

(第七號) 本店貸借對照表

資	產	金	額	負	債	金	額
貸付金	一七、五〇〇	〇〇〇	〇〇〇	定期預金	一三、〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
當座預金	七六五	五〇〇	〇〇〇	當座預金	三七、〇五三	〇〇〇	〇〇〇
割引手形	三二一、八四〇	五〇〇	〇〇〇	支拂送金手形	二、五四七	〇〇〇	〇〇〇
荷爲換手形	二五〇	〇〇〇	〇〇〇	他店ヨリ借(幾箇所)	二、六〇〇	〇〇〇	〇〇〇
公債	五、二〇〇	〇〇〇	〇〇〇	積立金	一〇〇,〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
他店へ貸(幾箇所)	一八、五〇〇	〇〇〇	〇〇〇	當期純益金	七、〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
支店へ貸	四、一〇〇	〇〇〇	〇〇〇		一、九七六	〇〇〇	〇〇〇
支店元金	五、〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇				
拂込未済資本金	五〇,〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇				
營業用地所建物	一、三〇〇	〇〇〇	〇〇〇				
營業用什器	二〇〇	〇〇〇	〇〇〇				
金銀有	二六、九二六	〇〇〇	〇〇〇				
切手手形	一六四、一七六	〇〇〇	〇〇〇				
合計	一六四、一七六	〇〇〇	〇〇〇	合計	一六四、一七六	〇〇〇	〇〇〇

明治何年十二月三十日

何縣何郡何村町
何銀行 印

(第八號) 何地支店貸借對照表

資	產	金	額	負	債	金	額
貸付金	一三、四〇〇	〇〇〇	〇〇〇	定期預金	八、五〇〇	〇〇〇	〇〇〇
當座預金	五三四	五〇〇	〇〇〇	當座預金	二五、一二二	五〇〇	〇〇〇
割引手形	一九、二八六	五〇〇	〇〇〇	支拂送金手形	一、八五三	〇〇〇	〇〇〇
荷爲換手形	一、八〇〇	〇〇〇	〇〇〇	他店ヨリ借(幾箇所)	一三、一〇八	五〇〇	〇〇〇
公債	二、三〇六	〇〇〇	〇〇〇	本店ヨリ借	四、一〇〇	〇〇〇	〇〇〇
他店へ貸(幾箇所)	一一〇、二三四	〇〇〇	〇〇〇	支店元金	五、〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
營業用地所建物	七〇〇	〇〇〇	〇〇〇	當期純益金	四八八	〇〇〇	〇〇〇
營業用什器	五〇	〇〇〇	〇〇〇				
金銀有	九、〇六一	〇〇〇	〇〇〇				
切手手形	一七〇、八〇〇	〇〇〇	〇〇〇				
合計	五七、一六二	〇〇〇	〇〇〇	合計	五七、一六二	〇〇〇	〇〇〇

明治何年十二月三十日

何縣何郡何村町
何銀行
何支店 印

(第九號) 第何期貸借對照表

貸	借
貸付金	定期預金
當座預金	當座預金
割引手形	支拂送金手形
荷為換手形	他店ヨリ借(幾箇所)
公債証券	資本
他店(貸)幾箇所	積立金
拂込未済資本金	當期純益金
營業用地所建物	
營業用什器	
金銀	
正貨	
紙幣並兌	
切手手形	
計	計

明治何年 六月 三十日

何銀行

何銀行 印

(第十號) 損益表

利	損
利息	給料
手数料	雜費
割引料	損失
公債利息	純益金
公債賣買益	積立金
前期繰越	配當金
	後期繰越
計	計

明治何年 六月 三十日

何銀行

何銀行 印

(第十一號) 財産目錄

種類	摘要	金額
貸付金	三	二九、九〇〇
當座預金	二	一、三〇〇
割引手形	三	五、四七一
荷爲換手形	十	四、三〇〇
國債	五	五、五〇六
地方債	七	二、〇〇〇
他店債	二	二、〇〇〇
營業用家作土藏	何箇所	二九、五二四
營業用什器	三棟建坪七十坪	八〇〇
拂込未済資本	金 圓 外 何 點	一、二〇〇
金 銀 有 寓	現持主二十名様式二千様又ハ 社員持主	三五、九八七
合 計		三三、三六〇

明治何年三月三十日

何銀行 何銀行 何銀行

第三章 貯蓄銀行條例

大藏省令明治二十三年法律第七十三號貯蓄銀行條例施行細則左ノ通り相定ム

貯蓄銀行條例施行細則

- 第一條 貯蓄銀行條例第四條ノ利付國債證券ノ事業若平ノ日ヨリ三日以内ニ明治二十三年大藏省令第三十九號供給取扱規程第二條ノ手續ニ依リテ之ヲ供託所ニ預ケ入ルヘシ
- 第二條 資本入金額ヲ増加シタル場合ニ於テハ補込期ヨリ三日以内ニ前項ノ預入ヲ爲スヘシ
- 第三條 本規則第五條ノ認可ヲ受ケントスルモノハ貯蓄銀行條例施行後三日以内ニ第一項ノ供託ヲ爲スヘシ
- 第四條 證券供託ノ手續ヲ了シタルトキハ原ニ供託所受領證ノ寫ヲ添付シ地方長官ニ届出ツヘシ
- 第五條 既ニ供託シタル證券ノ全部又ハ一部ノ返戻ヲ要スルトキハ其事由ヲ具シ返戻ヲ求めントスル證券ノ種類、番號、券面金額ヲ記載シ地方長官ニ出願シ其承認ノ證憑ヲ提出シ供託取扱規程第十條ノ手續ニ依リ供託所ニ請求スヘシ
- 第六條 貯蓄銀行ノ營業報告書ハ附屬雜形ニ進シ調製スヘシ
- 第七條 貯蓄銀行條例實施前ヨリ貯蓄預金ノ事業ヲ營ム株式会社コシテ貯蓄銀行條例施行後ニ其事業ヲ繼續セントスルモノハ商法施行條例第十條ニ依リ大藏大臣ノ認可ヲ受ケヘシ
- 第八條 本規則ニ規定セサルモノハ總テ銀行條例施行細則ニ依ル
- 第九條 貯蓄銀行營業報告書
- 第十條 貯蓄銀行營業報告書ハ左ニ示セル各項ノ外總テ銀行營業報告書中株式会社ノ例ニ進シ調製スヘシ
- 第十一條 一資本金ノ末項ニ左ノ一項ヲ加フヘシ
- 第十二條 一 拂込資本金何万圓ノ内何万圓ハ貯蓄銀行條例第四條ニ依リ國債證券ヲ買入レ何地供託所ヘ預ケ入レタリ
- 第十三條 一 貯蓄預金ハ左ノ雜形ニ依リ掲載スヘシ

一貯蓄銀行ニ於テ代理店ヲ置クトキハ契約書ヲ添ヘ届出ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第六章 雜(增)

司法省令 明治二十六年四月 商法第二百二十六條第二項ニ依リ調書ノ原本ヲ求ムル者ハ其用紙一枚ニ付金拾
錢ノ割合ヲ以テ登記印紙ヲ用ヒ其手数料ヲ納ム可シ但一行二十字詰二十行以下十一行以上ハ一枚トシ十
行以下ハ半枚トス

農商務省令 明治二十六年五月
三十一日第十一號

第一條 法律命令ニ依リ官廳ノ許可ヲ受ケヘキ營業ヲ爲サントスル株式會社發起認可ノ申請書ニハ商法第
百五十九條ニ依リ提出スヘキ書類ノ外其營業ノ許可ヲ得タル書類ノ原本ヲ添ヘ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

第二條 株式會社ハ左ニ掲ケル事項ヲ其都府地方長官ヲ經由シテ農商務大臣ニ報告スヘシ
一 登記ヲ受ケタルトキハ其事項及年月日
二 定款ヲ變更シタルトキハ其事項及年月日
三 總會ニ於テ議定シタル毎事業年度ノ計算書、財産目錄、貸借對照表、事業報告書、利息又ハ配當金分配
ノ簿

四 會社又ハ役員訴訟ノ當事者トナリタルトキハ其事件ノ要旨及年月日
五 前號事件終了シタルトキハ其結果及年月日

第三條 地方長官ハ株式會社ノ行爲法律命令ニ違反シ又ハ會社ノ安固ヲ缺キ若ハ公益ヲ害スルノ虞アリト
認ムルトキハ其事狀ヲ具シ連ニ之ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第四條 商法第二百二十七條ニ依リ検査ヲ爲ストキハ其検査官吏ヲシテ検査官タルノ證書ヲ携帶セシムル
モノトス

第五條 前各條ハ銀行又ハ鐵道事業ノ株式會社ニハ之ヲ適用セス但馬車鐵道ハ此限ニアラス

第七編 補遺

第二章 出版法

第三章 版權法

內務省令 明治二十六年四月 出版及版權ニ關スル願届手續等左ノ通り之ヲ定ム

第一條 凡願届書ニ署名スル者ハ各住所ヲ詳記シ實印ヲ捺シ内務大臣宛ニテ差出ス可シ

第二條 出版法第七條第八條ニ依リ文書圖畫ノ末尾ニ記載スル文字ハ總テ楷書タルヘシ

第三條 他人ノ書畫ヲ臨寫シ若クハ摹寫シ又ハ他人ノ詩文歌ヲ書寫シテ出版スル者ハ其紙面中ニ臨寫若ク
ハ摹寫者誰又ハ書者誰ト記載スヘシ

第四條 出版法第十條第一項但書ニ依リ許可ヲ得タル雜誌ハ製本中見易キ場所ニ於テ(何年月日)内務省許
可ト記載スヘシ但明治二十年十一月二勅令第七十六號出版條例第九條但書ニ依リ許可ヲ得タルモノ亦同シ

第五條 版權法第十一條第二項ニ依リ版權登錄願ノ手續ヲ省略セント欲スル者ハ豫メ大約一箇年內出版ノ
分隨應取束ネ版權登錄ヲ願出ルコトヲ得

第六條 外國ノ圖書ヲ翻譯シテ出版スル者ハ原書ノ題名著者ノ氏名出版ノ地名及年號ヲ原字ヲ以テ認メ届
書ニ添付ス可シ

第七條 出版法第八條第一書式再(三)版届ハ第二書式版權登錄願ハ第三書式雜誌版權登錄願ハ第四書式寫真版
權登錄願ハ第五書式版權登錄願再度下付願ハ第六書式ニ依ル可シ

第八條 出版法及版權法ニ於テ他人ノ許諾ヲ得ヘキモノニシテ其許諾ヲ得テ出版届出又ハ版權登錄願出ル
トキハ其旨ヲ届書又ハ願書ニ記スヘシ

非賣ノ文書圖畫ヲ出版スル者ハ其届書並製本中ニ非賣品ト記スヘシ

第九條 專ら學術技藝統計廣告ノ類ヲ記載スル雜誌ニシテ出版法第二條但書ニ從ヒ同法ニ依ラント欲スル者ハ第八書式同法第十條第一項ノ但書ニ依リ届出ノ手續ヲ省略セント欲スル者ハ第八書式ニ依ル可シ

第十條 版權登錄願ヲ許可スルトキハ第十書式寫眞版權登錄願ヲ許可スルトキハ第十一書式ノ證書ヲ下付ス可シ但毀損紛失等ニ依リ再度下付スル證書ハ第十一書式ニ係ル

第十一條 此省令ハ出版法版權法施行ノ日ヨリ之ヲ施行シ明治二十一年一月一内務省令第一號明治二十三年三月三同省令第一號明治二十五年三月三同省令第三號ハ同日ヨリ之ヲ廢ス

第一書式 用紙美濃紙

出版願届

一書名

全何冊(枚) 壹部ノ定價金何圓錢

右何誰著述(編纂、演說、講義、翻譯)何々ノ事ヲ記載(論述)セシモノニシテ今般出版候條製本二部相添此段御届申上候也

年月日

住所

發行者

氏名印

住所

著作者(相續者)氏名印

内務大臣(爵)何誰殿

第二書式 用紙同上

再版御届

一書名

全何冊(枚)

右何誰著述(編纂、演說、講義、翻譯)何々ノ事ヲ記載(論述)セシモノニテ何年月日出版(發行)致

候處改正(増減、附録、註解、繪圖等)相加へ今般再版候條製本二部相添此段御届申上候也

年月日

住所

發行者

氏名印

住所

著作者 氏名印

内務大臣(爵)何誰殿

第三書式 用紙同上

版權登錄願

一書名

全何冊(枚) 壹部ノ定價金何圓錢

此登錄料製本六部ノ定價金何圓錢 六部ノ定價金五十錢ニ滿タサルモノハ登錄料金五十錢ト記載シ其拾圓ヲ超ユルモノハ登錄料金拾圓ト記載スヘシ

登記印紙

登記印紙

登記印紙

登記印紙

登記印紙

登記印紙

右何年月日出版御届致候處版權登錄設下度此段相願候

年月日

住所

版權所有者

氏名印

内務大臣(爵)何誰殿

第四書式 用紙同上

雜誌版權登錄(手續省略)願

一書名

第何號(自第何號至何號)何冊 壹部ノ定價金何圓錢

此登録料製水(各號)六部ノ定價金何圓錢 金五拾錢ニ滿タサルモノハ登録料金五拾錢ト記載シ拾圓ヲ超ユルモノハ登録料金拾圓ト記載スヘシ

登記印紙 (印)

登記印紙 (印)

登記印紙 (印)

右ハ何年月日出版御届致(「出版法ニ依リ出版致スヘク」新聞紙條例ニ依リ發行致スヘク)候處版權登錄被下度此段相願候也

年月日

内務大臣(爵)何誰殿

住所
編輯者 氏 名 印

第五書式 用紙同上

寫眞版權登錄願

一 物象ノ名 何枚 壹部ノ定價金何圓錢

此登録料製水六部ノ定價金何圓錢

登記印紙 (印)

登記印紙 (印)

登記印紙 (印)

右何々ノ眞形ヲ寫シタルモノニシテ今般發行致候條版權登錄被下度見本ニ葉相添此段相願候也

年月日

内務大臣(爵)何誰殿

住所
版權所有者 氏 名 印

第六書式 用紙同上

(寫眞) 版權登錄證書再皮御下付願

一 書名(物象ノ名)

此手数料金五拾錢 全何冊(枚)

登記印紙 (印)

右何年月日版權登錄御許可ヲ受ケタル處何々ニ依リ毀損(紛失)候條版權登錄證更ニ御下付被下度此段相願候也

年月日

内務大臣(爵)何誰殿

住所
版權所有者 氏 名 印

第七書式用紙同上

學術(技藝、統計、廣告)雜誌出版御届

一書名

第何號

右ハ專ラ何々ノ學術(技藝、統計、廣告)ニ關スル事項ヲ記載シ毎月何回發行致スヘキモノニ候處出版法ニ依リ出版條條製水ニ部相添此段御届申上候也

年月日

住所

編輯者

氏名印

住所

發行者

氏名印

內務大臣(爵)何誰殿

第八書式用紙同上

學術(技藝、統計、廣告)雜誌出版手續省略願

一書名

第何號ヨリ

右ハ專ラ何々ノ學術(技藝、統計、廣告)ニ關スル事項ヲ記載シ毎年(月)何回出版法ニ依リ出版可致候條同法第三條ノ日限ニ不拘其出版ノ都度御届ニ不及發行前製水ノミ相續候條致度此段相願候也

年月日

住所

編輯者

氏名印

住所

發行者

氏名印

內務大臣(爵)何誰殿

第九書式

版權登錄之證

印刷

書名

何冊

著作者

氏名

版權所有者

氏名

右第 號ヲ以テ版權登錄簿ニ登錄ス

明治 年月日

內務省

省印

著作者自ラ版權ヲ所有スルトキハ別ニ版權所有者ノ氏名ヲ記載セス

第十書式

寫眞版權登錄之證

印刷

物象ノ名

何枚

撮影者

氏名

版權所有者

氏名

右第 號ヲ以テ寫眞版權登錄簿ニ登錄ス

明治 年月日

內務省

省印

撮影者自ラ版權ヲ所有スルトキハ別ニ版權所有者ノ氏名ヲ記載セス

第十一書式

版權登錄之証

姓名 何冊

著作者 氏名

版權所有者 氏名

右第 號ヲ以テ版權登錄簿ニ登錄ス

明治 年 月 日

內務省

水証書毀損(紛失)再度下付原出ニ依リ此
證書ヲ下付ス

明治 年 月 日

印 內務省

全國 大成 市町村便覽

明治二十五年中各府縣ニ於テ町村分合改稱セシ分

地方名	郡名	舊町村名	分合改稱 町村名
京都	愛宕	鷹ヶ峯村	鷹ヶ峯村
	中	大野村	口大野村
神奈川	橋樹	小机村	城郷村
	西頸城	南能生村	南能生村
	南浦原	大槻村	上能生村
新潟	中頸城	新井村	新井村
	北足立	宮谷塔村	春岡村
埼玉	小深作村		
千葉	兒玉	保木野村	金屋村
	下植生	田端村	金屋村
	裏森井	境村	安食村
	八名	志談村	志談村
愛知	八名	美米村	多米村
	裏春井	瀬戸村	多米村
	西加茂	瀬戸村	多米村
	實飯	瀬戸村	多米村
	八名	瀬戸村	多米村
	丹羽	岩倉村	岩倉村
	幡豆	横須賀村	横須賀村

大藏省令明治二十七年二月 明治二十年五月 大藏省令第八號所得稅法施行細則中第一號書式ノ注疏ヲ削リ左ノ備考ヲ設ク

一 稅法第二條第一項ノ所得ハ該項掲記ノ項目ニ應シ各別ニ記載シ同條第二項ノ所得ハ營業又ハ資産其他業稱ノ種類ヲ各別ニ記載スヘシ

一 同項目中種類ヲ異ニスルモノハ一種毎ニ又同種類ノ所得ニシテ居住地外ニ屬スルモノハ毎箇所限リ區分シタル内譯明細書ヲ添附スヘシ

但明細書ニハ所得ヲ生スヘキ物件ノ員數及所得ヲ算出セル標準額ヲ明記スヘシ

一 甲種ニ損失ヲ受ケ乙種ニ利益ヲ得タルモノ、類ハ所得總額上ニ於テ彼此差引キタル殘額ヲ留書合計ノ位地ニ掲載シ其理由ヲ詳記スヘシ

〔本令ハ第六類第五編第十二章所得稅中ニ入ルヘキ彫刻ノ際誤脱セシニヨリ茲ニ掲ク〕

明治廿七年五月二十九日印刷
 明治廿七年 六月 八日發行

正價金 八錢

發行者 篠 佐 吉

東京神田區鈴木町二番地

印刷者 中 島 勝 之 助

東京京橋區日吉町十二番地

石刷所 盛 廣 堂 香 山

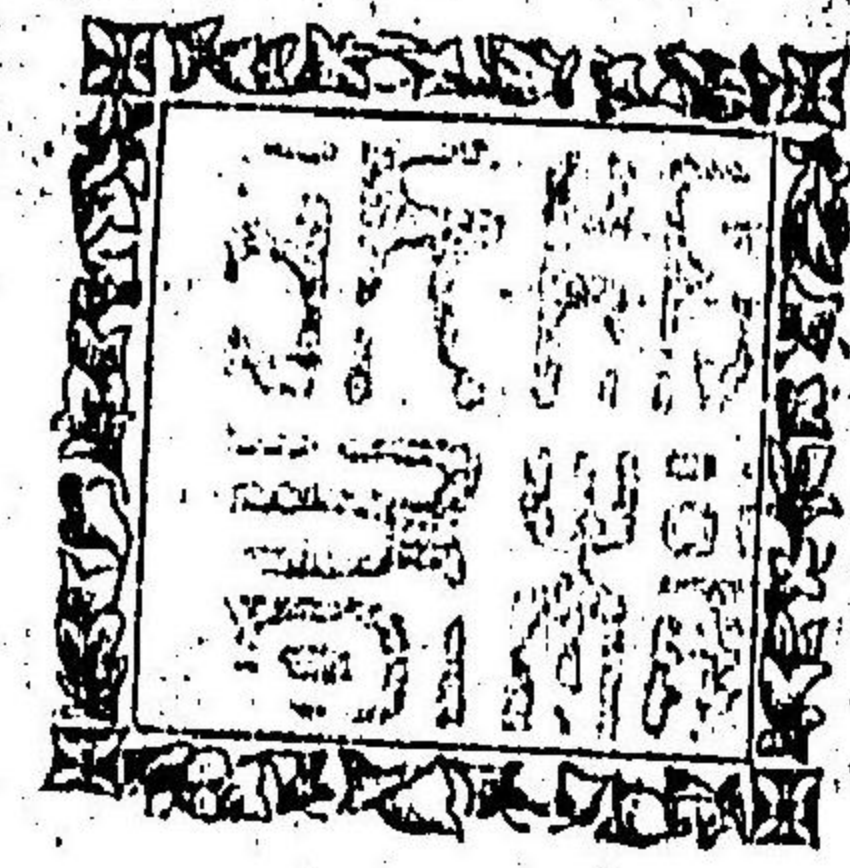
東京京橋區南紺屋町廿六番地

同 彫 刻 會 社

東京京橋區日吉町十二番地

發行所 いろは辭典發行部

東京日本橋區北紺町五番地



大 賣 捌 所

東京日本橋區北洲町第
 百五十三國立銀行同所
 東京神田區一ツ橋通町
 東京京橋區銀坐四丁目
 東京京橋區南紺屋町
 大坂備後町
 東京神田區雉子町
 東京日本橋區通一丁目
 東京神田區表神保町
 東京神田區表神保町
 東京日本橋區通三丁目
 大坂東區北久寶寺町
 横濱辨天通二丁目
 東京神田區駿河臺鈴木町
 東京日本橋區新大坂町
 東京京橋區竹川町
 東京神田區裏神保町
 東京京橋區南傳馬町
 東京日本橋區通油町
 東京京橋區水橋町一丁目

いろは辭典發行部
 有斐閣
 博聞社
 北國組出張所
 吉岡平助
 國々々
 大倉書局
 中西屋新邦
 八尾新助
 丸善書局
 丸善書局
 九善書局
 敬文堂
 小林喜右衛門
 共益商社
 明法堂
 目黒十郎
 水野慶次郎
 成野章
 (いろは順)

71

175

明
27

